



早坂憲明 議員

# 地域コミュニティ再構築の取り組みは

## 回答 再構築は容易ではない

実にある。

今後取り組みが必要であり、確立しているとは言えない。

早坂議員 9地区で「人・農地プラン」を策定しているが、どんな青写真を描いているのか。

町長 「人・農地プラン」は、5年後の地域の農地を、誰がどのよう守っていくのかを重点として、農地の集約、集積の方向性を定めて、効率的な農業経営に努める経営体の育成、地域における担い手の確保を示している。

町長 担い手不足や農業コストの増大、米価下落、食料自給率の伸び悩みなど、厳しい現

早坂議員 地方創生という名の下、「東京一極集中是正」「地方の人口減少に歯止めをかける」「日本全体の活力の向上」を国が掲げているが、確実に具現化されると考えるのか。

町長 首都圏から地方への流れは、簡単にはいかない。また、地方の人口減少に歯止めも、簡単にはいかないと言える。

岸田総理が新しい資本主義の主役は地方からと言っているが、地方から全体へポトムアップの成長を実現していくと言っている。地方から地方の活性化に取り組む現れであり、可能性は充分あると考える。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今後求められる持続可能なまちづくり

# 常任委員会の活動報告

## 令和4年度からデマンド交通運行開始へ

### 総務文教常任委員会

問 来年度から取り組む、デマンド交通の運行方式はどのようなのか。

答 現在、バスを利用できない方が、利用できるようにドアトゥドア型を考えている。

問 不登校傾向が、小学校5名、中学校9名いるが現在の状況を伺う。

答 中学校では、定期的に個々の改善策を話し合っている。また、小学校ではホースセラピーと連携しながら月1回会議を設け情報共有している。

問 令和4年度予算編成方針に、美しい景観と街並みの保持対策はあるか。

答 方針の重点施策に観光景観は含まれている。しかし、今後の町財政状況を考えると交流拠点を複数は厳しいと考えている。

問 マルコの家に、仏壇等様々な物があるがどのようにするか。

答 改修工事前に骨董品等を移動したが、若干残っている。また、仏壇については、関係者と協議しながら処分の方で検討していく。

問 中央公民館の解体後、今から検討する必要があるのか。

答 跡地利用については、全く白紙の状態だが財政の負担を考慮し早急に検討していく必要があると考えている。



デマンド交通で使用する予定の町公用車(プリウス)

## 12歳から15歳のワクチン接種は診療所で

### ～産業厚生常任委員会～

問 コロナワクチン接種の小学低学年と大人の3回目の接種時期が重なり、懸念されるが。

答 小児のワクチン接種は「個別接種」で診療所が会場になる。3回目の追加接種は「集団接種」で改善センターを会場とし、小児の接種と追加の接種が一緒になることはない。

問 新築住宅に金山型住宅が少なくってきているが今後の方向性は。

答 今年度の新築に金山住宅は少ない。金額面と完成までの日数が影響していると思われる。金山住宅が少なくなっているという事は、景観施策の課題であり今後の施策展開を図る検討材料である。

問 オリンピック・パラリンピック選手村への提供木材の3分の2は基準に適合せず未使用で返還されたようだが。



選手村で使用されたオリ・パラ材

12月8日午後開催され、所管の補正予算などの議案、所管事務に対する質疑を行った。主なものは次のとおり。

答 基準不適合返還材はオリ・パラ組織委員会への発送後の基準変更により戻された。

問 モルックやリズムウオーキング等の健康づくり事業の参加者増に向けての考えは。

答 体の状態に合った健康づくりのメニューを伝える等の、検診結果の説明会を実施したいと考えている。